



発行所  
 千葉市千葉港4番2号  
 千葉県中小企業会館4階  
 千葉県商工会連合会内  
 千葉県商工会婦人部連合会  
 電話 0472 (42) 3361

コスモスの花を咲かせて (印旛村商工会婦人部)

紙上講習会

地域の振興と商工会婦人部

—21世紀の日本社会をつくりかえる—

千葉大学教授 杉岡 碩夫

昭和六十年という年は、西暦でいうと一九八五年ということになります。あと十五年で新しい世紀、二十一世紀を迎えることになり、このところ何かというと、「二十一世紀」という言葉がハランンとしております。

しかし考え  
てみますと  
二十一世紀  
という時代  
区分はギリ  
スト生誕を  
起源とした  
ものであり、  
クリスチャ  
ンでもない  
日本人一般  
の私たちに  
は何の関係  
もないこと  
である—と  
いえないこ  
ともありま  
せん。げん

に世界には、マホメットの誕生を起源とするものや、新中国のように革命達成の年から年号をスタートさせているものもあります。日本でも終戦のときまでは、皇紀二千何百年という呼び方が普及しておりました。

したがって二十一世紀がきたからといって、季節が変わると衣更えをするように、すべてが改まるわけでないことはいうまでもありません。しかし世界の状況や日本の現況を考えると、これからあとの十年余で大きな変化が予想されることも確かのように思えます。たとえば高齢化社会の到来、情報革命の進展などがそれであり、変化に対応する各種の準備の必要が声高に議論されていることは御承知のとおりであります。

ところで、二十一世紀にかけての変化ということのなかで、こと日本に関していうと、社会を変えてゆくもつとも大きな要因のひとつに、「女性のあり方」がある。と私は考えております。日本女性の生活の仕方の変化が、自づと意識の変化につらなり、それが男性をふくめた日本社会の全体を根底からゆさぶってゆくのではないかという予感であります。

というのは日本の女性のライフ・サイクルがすっかり変ってしまったからであります。試みに昭和十五年の時点でみますと、日本の女性は結婚すると平均四、五人の子供を生み、末子を小学校にあげたあと、わずか八年しか生きておりませんでした。それに対して今

日では、子供はせいぜい二、三人で、しかも女性の平均寿命は八十才弱と伸びましたので、末子を小学校に入学させたあと、娘時代と同じように自由に自分の時間をすごせる期間が四十年弱とのびました。昔にくらべると、実に五倍の自由時間を今日の日本女性がもつようになったのであります。

言葉をかえていえば、戦前の日本女性は夫につかえ、子供を育てることだけが人生でしたが、今日ではそのあとで実に人生の半分を自分なりに生きていける可能性がうまれたということです。今日、多くの女性は家計を助けるため、あるいは自分で自由につかえる金を求めてパートにはげみ、一方で余裕のある人々はテニス教室やカルチャーセンターに通って、楽しみながら身体をきたえたり教養を深めたりしていることは、私たちの身のまわりで日常的にみられる風景であります。

問題はこのあと、自由を得た女性がどのように実質的に社会の運営に参加してゆくか、ということでしょう。女性による各種の職場への一層の進出、社会的活動における舞台がひろがるなかで、これまでのオトコ中心の社会では考えられなかった色々の変化が起って

くるでしょう。

たとえば、つき会いと称して毎晩赤チヨウチンをわたり歩いたり、あるいはマージャンにうつつをぬかすことのできた男性天国は少しずつ変化を余儀なくされるでしょうし、そうではなくて真面目に会社で残業する夫を温和しく家で妻がまつという美化も修正されざるを得ないでしょう。男性がどう考えようと、女性も男性と共に働き、共に楽しむということは当然のことだし、そのことが男中心社会を変えずにはおかないからであります。そうなるど働き蜂社会といわれる日本の産業社会も大きな衝撃をうけることになります。

従来、商工会所属の女性は、サラリーマン家庭と違い、職場の第一線にたつてきました。しかしその場合でも、あくまで男を表面にたてて、女性はワキにひかえるというスタイルに終始してきたと思えます。しかし女性のライフサイクルの変化はここでも確実にすすみ、それが自づと意識の変化をひきおこします。

そのことがどのような形であらわれるか、注目したいところです。しかしそこでは男性中心社会の時代の合言葉である「闘う」姿勢がうすれ、女性特有の「やさし

さ」が加わり、経済的な側面では「競争中心」から、競争を否定はしないが、同時にお互いに助け合う「相互扶助」の気持が社会を掩つてくるような予感と期待を感じます。

とくに高齢化がすすみますと、サラリーマン家庭でも企業との結びつきが薄れ、地域社会で生きてゆく必要が高まります。そのときもともと地域を地盤として、生きてきた商工会の女性が、そこに「相互扶助」のある「やさしい社会」、別の言葉でいえば弱者でも努力すれば一人前の生活のできる社会を先導してつくってゆけば、それはすばらしいことではありませんか。



東通管内

都県商工会連合会婦人部連絡

協議会鴨川市で開催される!!

今年度の東京通産局管内都県商工会連合会婦人部連絡協議会が、去る五十九年六月二十五日、二十六日の両日、鴨川市の鴨川グランドホテルで、県内外から八十名の参加を得て盛大に開催された。

第一日目の二十五日は全国商工会婦人部連合会会長、福山すみ江氏及び東京通産局管内都県商工会連合会婦人部連絡協議会会長、勝股歌子氏のあいさつにはじまり、千葉県商工会連合会副会長、石井守氏の歓迎のあいさつ、千葉県商工会労働部部長、河野早苗氏の来賓あいさつがあった。続いて県商工会労働部観光物産課課長補佐、布施剛氏による「房総の魅力と地域経済」の講演があったあと協議会の議題に入った。

今回は、商工会婦人部健康づくり運動について県外及び県内各地から参加した部員から活発な意見が出され、熱心な討議が行なわれ

た。第二日目の二十六日は鴨川シーワールドで、移動研修が行なわれた。

二日間にあたる協議会は参加いただいたご来賓の方々や部員の熱意、また関係者の方々のご協力により盛況のうちに終了した。

商工会婦人部の  
結成促進を目標に  
第9回民謡舞踊研究発表大会

恒例の商工会婦人部民謡舞踊研究発表大会が、昭和六〇年二月二十五日、千葉市の千葉厚生年金休暇センターで、来賓等を含め約二四〇名の参加を得て、

盛大に開催された。来賓として、協栄生命千葉支社長天春立兵氏、千葉県火災共済協同組合局長高木栄一氏、県連から会長菅生義一氏、副会長石井守氏、

専務理事大野耕一氏、事務局長塚原敏夫氏をお迎えして、ご指導を賜った。

大会は「商工会婦人部の歌」のあと、大会実行委員長勝股歌子氏



大会会場にて



舞踊発表

# 私たちの婦人部活動

## 関宿町商工会婦人部

部長 荒井ふさ

関宿町商工会婦人部は昭和五十年九月商工会より発起人の役員が選出され、その役員さん達の熱心なお骨折によりまして一八一名が部員に入会して下さいました。そして五十一年十月才覚ある飯田部長の下に結成され、設立総会となりました。

始め来賓等のあいさつがあり、続いて発表大会に移り、七十五曲の舞踊、カラオケ発表等が行なわれた。

大会を通じて、各婦人部、各部員の親睦が深まり、商工会婦人部の結成が促進されることを期待するものである。

早速五十二年六月町役場のバスで函南町商工会を視察し、婦人部としてのあり方を色々と勉強させて頂きました。又一昨年、婦人部青年部共催にて安西愛子先生の講演会を開きました。豊かな人生体験をもとに物の尊さ、ありがたさや好景気を維持していくには人間関係の調和が大切である等、身近な問題に即した講話に会場から盛んな拍手が送られ大成功のうちに幕を閉じる事が出来ました。

この様に年一度の講演会、親睦を深める為の研修旅行、テーブル

マナー、フラワー講習会、県連主催の指導者講習会には必ず三、四名は出席し、皆様の会話から又講師の先生からのお話から出来るだけ収穫を得て部員の方々に発表する様に全会員の向上に心がけております。

我が町も都市化の波にのり、人口も急増しつつあります。そして当然の事のように大型店の問題が二、三年前から出て参りました。しかし地元の小店主の熱心な研究調査の結果、大型店の創立に成功しまして、関宿ショッピングとして六十年三月八日オープンの運びとなりました。

今度こそ私達婦人部の団結と勉強を必要とする時ではないかと思えます。千葉県の最北端の婦人部ですので県婦連の会長さんを始め、皆様のよりよき御指導をよろしくお願い致します。

## 印旛村商工会婦人部

部長 間野 妙子

北総ニュータウンの造成地に、コスモスの花壇を造つたらという話が、六月の会議にでた時は誰もが半信半疑、成功が危ぶむ声すらあった。山口商工会長が一番熱心で、企業庁と折衝し用地使用の見通しもついた。青年部と合同事業で実行に決定、七月上旬の暑い日、整地にかかった。トラクター耕起は青年部の担当、大小の石塊と雑草の根を根気よく捨集め、一日がかりで役場前の県道と中学校通学路沿いに五十メートル程の播種床ができた。

農協から肥料が寄贈され、種蒔きは花卉組合の中村さんと中学生の協力で行われた。

暑い日が続くが懸念されたが早に強い花の芽は遂に出た。コスモスの芽と一緒に雑草の芽も出てきた。雑草の成育の方が遥かに速く、除草も手につかぬまま一ヶ月程経った頃、まだ幼い草茎にいくつかの花が咲いたニュースが伝

わった。喜んだ部員が、交代で集り草取りをした。消防署の応援でたっぷり水をかけてあげた。(老人クラブも挙って草取りを応援してくれた。)

「納涼憩いをつどい」のチャリテイバザー(これも青年部と合同事業)で、間引いたコスモスの苗木を希望者にあげたら皆喜んでくれた。

やがて成長したコスモスは、見事に赤、ピンク、紫、白、色とりどりの花を咲かせ、通る車もスピードを緩め、なかには花壇に入っ



村制三十周年記念協賛事業と銘打って始めた「花いっぱい運動」が、こんなにも反響をよび、皆さんに喜んで貰えるとは、なんて素晴らしいことなのだろう。

今は枯れて淋しく茎だけ残っている花壇を眺めながら、来年はもっと面積をふやそう、そして冬の花壇造りもと、部員同志で話合っている。



コスモスの播種床の造成

## 蓮沼村商工会婦人部

部長 浪川 良

私達の村蓮沼は、房総半島北東部九十九里浜の中央に位し、海岸線三、八km、東西二、五km、人口四、七七四人、戸数一、一五七戸、県内一小きな村です。

千葉市から三十四km、成田空港より二十km、土地は平坦で、土壌は砂質土、気候は海洋性で冬も晴の日が多く温暖です。現在、レクリエーション都市構想に基く海浜公園建設が進められ、完成もまだか観光としても大きな前進が見られると思います。

こんななかで、五十七年十二月商工会婦人部が結成、部員数八十七名のうち役員十二名でスタート致しました。まず活動にはいる前、互に顔もわからないではと言うことから、日帰り親睦旅行からはじめ成果をあげ、総会も多勢の出席を見る事ができました。役員会は二ヶ月に一度ときめ、講演会、テーブルマナー、料理講習、見学等会員相互の親睦を計りながら勉強に励んでおります。

昨年は青年部との合同講演会も聞くことができました。これからは、更に会の本質を認識、組織の拡充強化を計り、未来に飛躍する蓮沼村商工会婦人部として、目標に近づくよう努力して参りたいと思います。

# 神崎町商工会婦人部

部長 渡辺 千代子

私共婦人部は、昭和五十六年十月に発足し部員百三十八名、役員十二名で活動いたしております。発足して日も浅く、婦人部活動の在り方等勉強中ですが、楽しい活動の中から本来の商工婦人の在り方、婦人部活動の在り方、組織率の向上に努力いたしております。

昭和五十九年度に実施した事業を皆様にご披露し参考に供したいと存じます。

### 『未来を先取りする研修活動』

一、「景気の現状と見通し」—環境を同じくする近隣三町商工会の青婦人部で共催し、経費の節減を計るとともに交流をしております。

一、「時代の流れ、その生き方」

—女性講師による講演で同性の話として好評でした。

一、「先進地視察旅行」—車中での町税務課長による税の話と鬼怒川での一泊を楽しました。

### 『地域に寄与する奉仕活動』

一、「チャリティカラオケ発表会」—婦人部で売店を担当し、会場に花を添え、益金は町の社会福



教育助成チャリティびっくり市

### 『自己研鑽と親睦活動』

一、「手芸講習会」—和紙を使ってブローチ、ペンダントの作品を作りました。

一、「料理講習会」—ホリディイン成田でコックさんにフランス料理を習い、食べながらテーブルマナーを受講いたしました。

一、「工場見学」—ヒゲタ醤油工場を見学し、銚子で海の幸を食

べながらカラオケ、舞踊などを楽しみました。

昨今の厳しい経済環境の中で、零細企業を主とした婦人部組織において商工婦人の役割は重要なポイントを持っています。これからも婦人部の目的を自覚し、地域商工業の振興と問題意識を持って婦人部活動を実践し、自己研鑽とともにその任務を全うしたいと思っております。

# 木更津市富来田商工会婦人部

部長 江 沢 雅 子

富来田地区はご存知でない方もいらっしゃるかと思います。が、木更津市の中心部から、久留里線で約十分のところであり、人口は八千人弱の自然環境に恵まれた地域です。

私達の婦人部は、昭和五十三年二月に結成され、県婦連に加入いたしました。私は四代目の部長であります。どんな活動をすれば部員に役立ち、喜ばれるか、又、地域の住民に貢献できるかいつも思案中です。

部員構成は役員が六人で部員は現在三十人に増員されました。事業活動としては、目新しいものはございませんが、二月月に一度例会を開催し部員同志の交流と親睦をはかっております。出席も積極的にお互いに意見を交換したりし、楽しみながら進めております。又、講師を招き婦人経営者にふさわしい内容の研修会を実施したり、時には青年部と共催で行う事もございます。

昨年は十一月に商工会主催の商工祭を開催いたしました。部員が売店やゲームコーナーを担当したりし、地域住民との交流を深めました。

その他、趣味の方では青年部との合同ボーリング大会を実施したり、カラオケや舞踊の練習なども行っております。

今後の事業の予定といたしましては、他の商工会婦人部との交流や、又、地域内の奉仕活動にも力を入れ、商工会婦人部の輪を大きくし、組織強化を努力してまいりたいと考えております。

## 岬町商工会婦人部

部長 米本 精子

はじめに私達の岬町の紹介をします。銚子の犬吠崎から南へ弓なりに白砂浜の続く、九十九里浜の南端に怒濤に聳える太東岬があります。昭和三十五年は現在の岬町の前身、長者町と太東町の二つの町がありましたため、商工会も長者町商工会と太東町商工会と二つの商工会が誕生し、翌年昭和三十六年八月に両町が合併し岬町とな

り、三十七年四月に両商工会も合併し、現在の岬町商工会となりました。

青年部の設立は早くなされ、地理的に夷隅川をはさんでの旧長者町、旧太東町の若い人の心の交流からはじまり、これが合併後の商工会全体の組織力に大きく貢献したと思われております。

婦人部の結成は、昭和五十七年十二月「主婦と税金」と題した茂原税務署係官による商工会の講習会と結ばせた設立総会を開き、六十一名の部会員で、先ず心豊かなふれあいづくりを第一の目標とし未知の不安をかかえながら出発しました。

設立後、これまで二年間婦人部事業としてはバスで埼玉県岩槻市の人形工場、野田の醤油工場の見学。新東京国際空港見学とテーマルマナー、国立民俗歴史博物館の見学、ヨガ教室等を行いました。また昨年十一月三日商業部会が中心となり町の後援で開催した岬町商工まつりには、私ども婦人部から分担で甘酒の無料サービス、餅



岬町商工まつり

つき実演と搦きさてのちぎりあんころ餅、きな粉餅の無料サービス、おでんコーナーを開き、町総合グラウンド会場がいっぱい、ぞくぞくの人出のお客様から大変な人気をうけました。

これらいずれの行事も出席者、参加者が意外と多く行事開催の都度、たびごとに部会員の加入があり、現在部会員は八十名に増加されました。ここで私は婦人部活動の在り方の大切さを認識し、これからも部会員の御理解と協力をいただきながら将来にむけて、よりよい商工会と婦人部づくりを目指して参りたく存じます。



岬町商工まつり

# 鴨川市長狭商工会婦人部

部長 高梨稔子

長狭商工会婦人部は、昭和五十七年十二月結成、まだ二年余りしかたっておりません。

私たちの地区は、鴨川市内でも山間に位置している農村です。人口七千人余り、過疎地域です。社会の現代では、土地の人の購買力も市街地に流れている現状です。

そんな中で、私たち婦人部は、事務局のご指導や、先進地の活動状況を参考にして歩みを続けております。たまたま近くで催された全国大会、また県大会などに参加し、大変よい研修になりました。

また、地区の活動として、スーパーにはない人間的な交わりをもつた店にと努力しています。明るい接客態度は心身共に健康が第一と、料理教室を開きました。また、先

どうぞよろしく

## 沼南町商工会婦人部

部長 鈴木綾子

私たちの沼南町商工会婦人部は、昭和五十八年四月十日頃より発起人中心で、一件一件の会員勧誘か

ら始まり、五月十八日部員二十一  
名、部長一名、副部長二名、会計  
監査二名、役員五名で発足しまし

た。県の指摘もありまして、婦人部の遅い設立に、商工会指導員、職員の方のお骨折りがございました。

会の運営は、規約に従いまして必要に応じた役員会の開催の中で和を大事に親睦を中心とした事業ということから、昭和五十八年度料理教室、テーブルマナー、講演

### 婦人部紹介

会、部員増強勧誘等行ないました。現在部員三十九名、昭和五十九年度は、料理教室、沼南まつりの協力、婦人部のアピールの為花の種配布、益子町視察交流会、講演会など展開してまいりました。

しかしながら、ほんの一握りの商工会婦人の集まりに今いち盛り上がり苦慮しています。婦人の地位向上には各婦人の自覚と意識高揚が大事ですが、事業主の方々のご理解、ご協力がなくては、婦人も外に目を向けられません。家庭を守る。店を守るやさしい婦人であることがなにより的美徳とされていますが、速い

テンポで移り変わりつつある情報社会へ参加され、快活に生活をエンジョイされることを望んでおります毎日です。



## 八千代市商工会婦人部

部長 木田キミ

都市化急増地八千代の街づくり市政で商工会の組織強化が急務となり、暮もし詰まった一昨年十二月六日部員八十一名を以って急遽婦人部が結成されました。初年度の四ヶ月間は準備期間と定め、先ず先進地婦人部の活動を視察、創立事業として佐々木久子先生を招聘し記念講演を開催、頭と体を使い創意工夫の商法を、どのお話から婦人部としても自らが動いて実行する事を学ぶ。本年度は毎月一回の定例会を軸に親商工会及青年部との交流を密にし、部員相互の親睦を計りつつ予定された事業を着実に実行しております。

主な事業を連記しますと市行事なかよし橋渡初め参加、ふるさと親子祭にはチャリテイバザールで



参加、売上げ金を福祉へ寄附、多様化する消費ニーズへの対応と知識向上には、講習会、講演会、移動研修、青年部との共催勉強会、等々……併せて県連行事にも積極

### 君津市君津商工会婦人部

部長 鈴木 千代子

はじめまして、森と緑と鐵の町、君津市です。昨年十一月に君津商工会婦人部が一八〇名の会員のものと誕生致しました。

なにぶんにも世帯が大きいだけで実績もなくすべてこれから生みだして行くわけで、私達は婦人部としての確固たる土台作りをするつもりで一步、一步、歩んで参りたいと考えて居ります。

現在の君津市は、新日本製鐵という大企業の進出により、めざましい発展を遂げ、私達、中小の商工業を営む者にとりましての経営環境も、大きな変化を求められる時代となりました。本来、私達婦人は縁の下の力持ちと申しますか、裏方に廻る仕事を得意とし、華々しい場所に出ることは非常に苦手に思うのですが、この会を無事誕生させるべく発起人となられまし

的に部員を参加させる事で意識の高まりを願っております。まだまだ未熟な婦人部ではありますが、今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

た方々と知り合えました事は、一番の利点、メリットではないかと思えます。自分の商売・経営のあらゆる面に役立つ事が多く、又、意欲をかり立てられ、本当によかったと感謝しています。

有能な方々をスタッフとした君津婦人部は大地にしっかりと根を張った梅の木のように、ほのかな香りをただよわせ、人の気持を柔らげ、そして、後には実りある部会になるよう一生懸命努力して参ります。何卒御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



### 君津市上総商工会婦人部

部長 川俣 よし

昭和三十五年九月二十八日上総商工会が設立され、以来二十五年の歳月が経過した。

その間、昭和四十四年四月一日に青年部が設立されたのに続き、昭和五十七年度に全国統一の定款及び商工会運営規約が設定された中で婦人部（青年部）の重要性が明確化された事と県連合会からの強力な指導もあり、

昭和五十九年十月の理事会において設立することが承認され、十一月に発起人会議を開催し部員募集及び設立準備をし、部員百二名を募る事ができ、

昭和五十九年十二月十二日に県連合会より大野専務、勝股県婦連会長、その他多数の来賓の御臨席を賜わり盛大に設立総会を開催することができました。

今後は役員を中心として地域商工業に従事する婦人として総力を結集し、婦人の特性を生かし豊かな生活環境を築くため商工会事業等に積極的に参加し、相互の親睦と研修を図り、よりよい生活と企業の繁栄と更には地域の発展に努力して行きたい所存でありますので、よろしく御指導賜わりたくお願い申し上げます。

### 袖ヶ浦町平川商工会婦人部

部長 石橋 暢枝

人口四万六千人の我が町袖ヶ浦、西に内房線袖ヶ浦駅と長浦駅、東に久留里線横田駅、そして東横田駅と国鉄四つの駅をもつ千葉県

一の大らかな町、この東地区の静かな町並に存在する平川商工会、この平川商工会婦人部発足にあたり商工会より発起人の依頼を受けま



して発起人中心となり、会長さんよりいろいろと商工会事業について説明を受け、準備も急速に進み昭和五十九年十一月、県婦人部連合会長さん始め、来賓の方々の御出席のもとに平川商工会婦人部設立総会が開かれました。

商工会事業におきましては認識もない私が部長役の任命にあづかり不安でございましたが、会長さん始め事務局の皆様方の暖かい御支援におすがり致しましてお引受けした次第でございます。

設立以来三ヶ月、年末年始と多

## 富浦町商工会婦人部

部長 小泉 つる

忙に当り、新事業と致しましては、二月中旬講師先生をお招き致しまして包装講習会を予定しております。尚、親睦旅行等を計画し、又話し合いの場を設け皆様と語り合い、たのしい有意義な婦人部である様心がけ、努力していきたいと思っております。

商工会長さん始め、事務局の方々の御指導のもとに微力ではございますが、婦人部活動に邁進してゆく所存でございます。

袖ヶ浦町平川商工会婦人部をよろしくお願い申し上げます。

富浦町商工会婦人部は、五十八年十一月、事務局の指導並に、発起人一同の努力により会員数百余名で、順調に発足致しました。

当町商工会員は、家族営業が多く、部員は接客はもとより、家事育児その他、忙しい毎日を送っております。設立初年度の行事は次の通りでした。

- 一、講演
- 二、税務講習 二回
- 三、研修、調理と洋食マナー

- 四、ボランティア活動、町づくり花一ぱい運動参加、地震見舞、アフリカへの毛布集め百枚
- 五、青年部役員との話し合い等でした。

町の皆がお客様です。みなさんと良く交際し、機会ある度に地域につくし心をこめて客に接する事が、自店の繁栄更には本部への協力につながるかと信じます。

富浦町商工会婦人部は若い行動力のある役員に恵まれ、見通しは

非常に明るうございます。今後共、関係諸氏の御指導をお願い致します。



## 全国大会で表彰

昭和五十九年十一月二十二日、東京渋谷のNHKホールで、第二十四回の商工会全国大会が開催され、経営改善普及事業に関する功労者等の表彰が行なわれた。本会関係等は次のとおりです。

◎中小企業庁長官表彰  
優良婦人部

裾南町商工会婦人部

鎌ヶ谷市商工会婦人部

婦人部功労者

京増さく(酒々井町商工会婦人部)

◎全国商工会連合会会長表彰  
優良婦人部

栗源町商工会婦人部

婦人部功労者

勝股歌子(八日市場市商工会婦人部)

飯島喜代(旭市商工会婦人部)

俳

句

酒々井町商工会婦人部 京増さく  
日だまりの 白梅一輪 新春の朝  
春日和 元日二日 木立がかすむ  
成人式 ガラス越しの アザヤカさ  
寒空に どこえ果てるか 群れ雀  
富里村商工会婦人部 相川せき子  
立春の風がそはそは種子屋の戸  
水流るところ明るし春隣  
春近し大売り出しの旗並べ

編集後記

春とはいえまだ寒い日が続きましたが、各地から花のたよりも聞こえております。

今回は各婦人部から多数の原稿をいただきました。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

〔編集委員〕

編集委員長 勝股歌子

編集委員 海老原綾子

〃 木下きみ江

〃 京増さく

〃 坂本圭子